

議会だより



🌸 第5回西桂町農村写真コンテスト議長賞「新緑の西桂の里」 撮影 舟久保隆時さん 🌸

今年の予算はこう使われます 2～9P

一般質問（滝口幸雄議員） 16～17P

- ① 町の基金と地方債の状況・今後の見通しは
- ② 行財政改革取組状況と今後の方針は

地域で活躍する団体を訪ねて
世さ来いみつとうげ **19P**

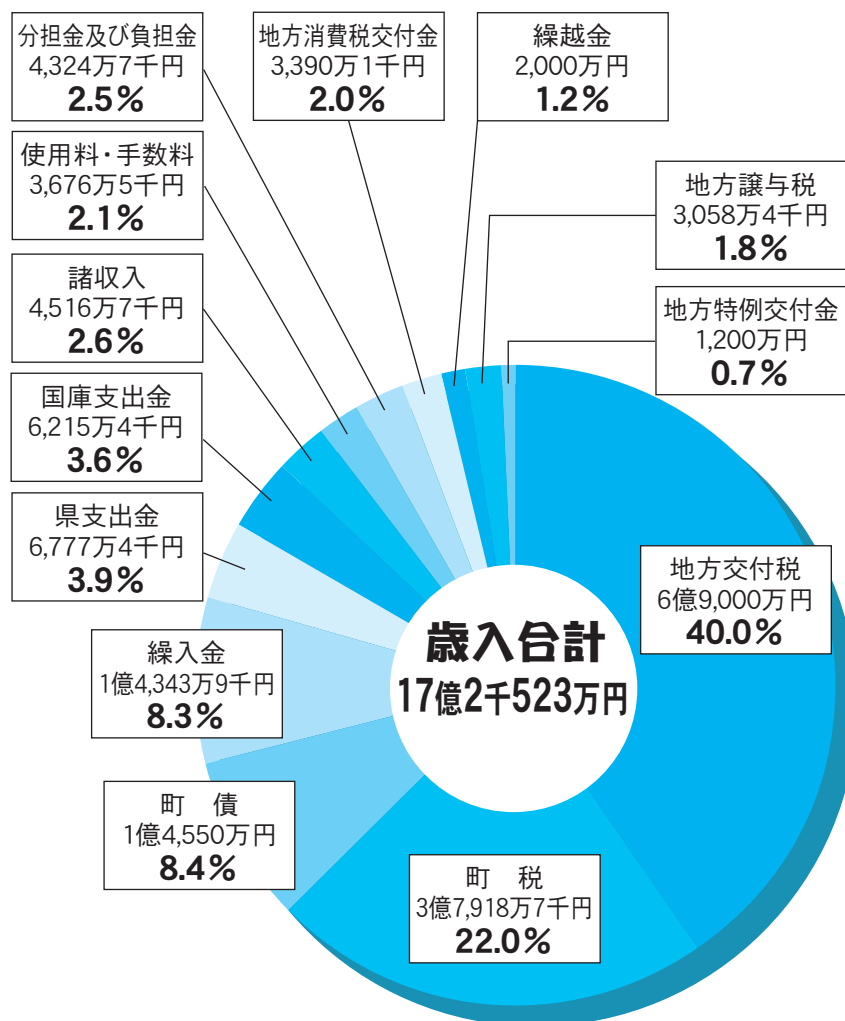


Nishikatsura

平成17年4月27日発行

中野線拡幅工事を継続実施

3月定例会議・連合審査会



※ 歳入は主なものを掲載しています。

基金（貯金）残高 13億4,435万2千円（約27万2千円）
 地方債（借金）残高 21億3,270万7千円（約43万2千円）
 うち実質残高 11億7,512万2千円（約23万8千円）
 （ ）内はH17.3.1現在人口で割った1人あたり額

平成17年度一般会計当初予算

問 ペイオフ全面解禁について収入役の所見は。

収入役 各金融機関で発行するディスクロージャー誌の内容をチェックし、①健全性、②収益性、③リスクに対する保全な

どを注視しています。健全性では自己資本比率が対象で、収益性では利益がどの程度金融機関に上がっているのかとか、預金高と貸付高の状況も見て、貸付債権に対して

保全がどのようにされているのか、抵当権の設定とか保証協会の保証というようなものの視点で見えています。現在預かっている金額としては、基金会計の預金と歳計現金、13億1千万円ほどで、指定金融機関並びに収納代理機関、4金融機関に主

に定期預金で預けています。リサーチ会社のリサーチ、ディスクロージャー誌の分析によると、現在の金融機関の経営状況は全体的には自己資本比率も向上しており、全体的な収益の増加に繋がっているようで、今のところは現状のままでも大丈夫

夫ではないかと思っております。職責の中では、今後も金融機関情報の収集強化、あるいは口コミ等の情報をとりながら公金管理について万全を尽くしていきたいと考えているところです。

また、各金融機関から縁故債をいろいろな事業で借り入れております。地方債と預金との相殺手続きを含めた特約条項を盛り込んだ契約により、安全確保を図っているところ です。

問 町営住宅には何件か空き家があるのか。

建設課長 3月15日現在で入田団地では22戸中1戸、中野団地では30戸中1戸、月夜の平団地では30戸中1戸、計3戸の空きがあります。空き待ちの方がおり、実質的には空きはありません。

問 基金繰入金の計上理由。

総務課長 当初予算の作成にあたり、暫定的に計上しているものです。

意見 健全財政を図って

国道渋滞緩和のため宮下

いくためにも基金からの取り崩しをしないようにしていただきたい。

問 文書管理システムとはどのようなものか。

総務課長 平成17年度に新規導入するもので、役場に毎日入ってくる文書を管理するためのシステムです。

問 ひとり親家庭医療費助成が159万2千円計上されているが、これは町単体の事業か、各市町村とも全て行っている事業なのか。

住民福祉課長 県の事業として行っており、町単独ではありません。扶助費については1人1ヶ月

850円、県補助金と合わせての扶助をしており、県内全市町村で実施しています。

問 精神障害者居宅生活支援事業、精神障害者短期入所事業、身体障害者短期入所事業及び身体障害者デイサービス支援費については昨年度予算執行

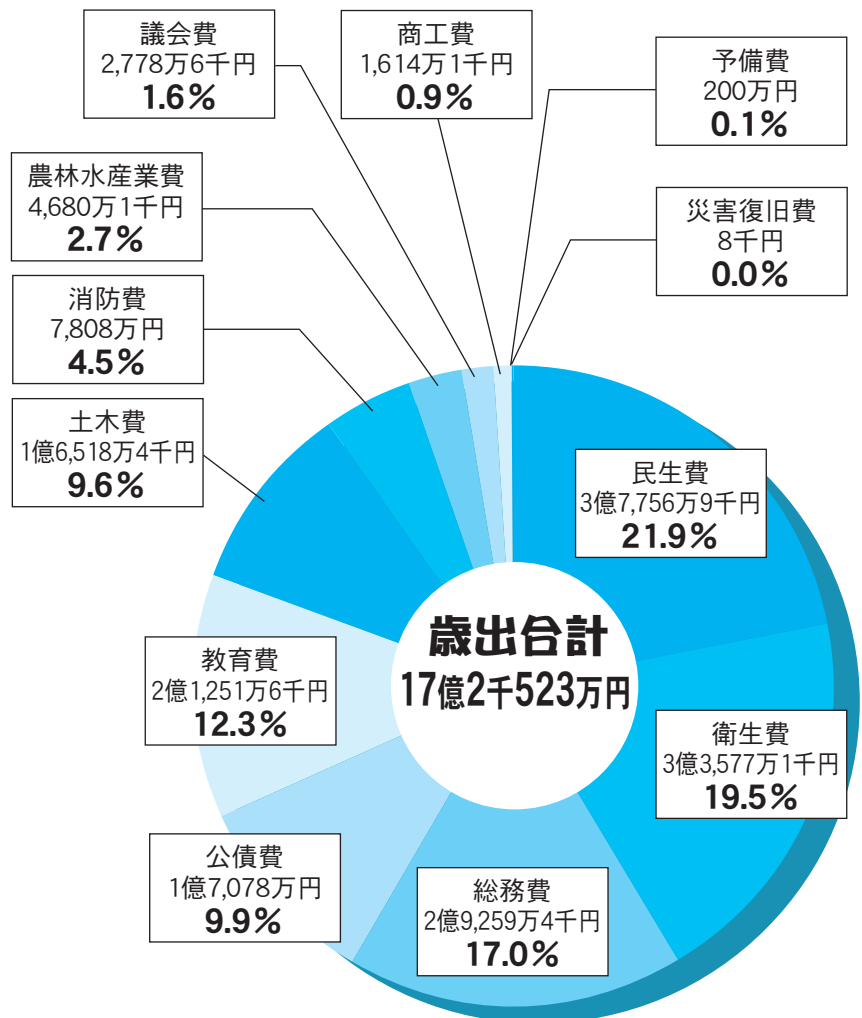
行がなかったようだが、その理由は。

住民福祉課長 平成16年度には当初予算に計上いたしましたが、希望者がなかったため予算執行できませんでした。

問 新規計上のゴミ処理基本計画、生活排水処理状況調査の内容は。

住民福祉課長 17年度には5人槽及び6人、7人槽を合わせて9基を予定しています。

4ページへ続く



住民福祉課 ゴミ処理基本計画は平成9年度に策定しましたが、新ゴミ処理場の建設やリサイクル意識の高揚により状況が当時と変わってきているため、その見直しを行うものです。また、生活排水処理状況調査については、下水道事業との関連があり、各世帯でどのような生活排水を現在行っているのかという調査をするものです。

意見 下水道の受益者負担については、かなり説得力のある説明をしないと町民の皆さんにも加入していただけないので、事業を計画通り遂行し、受益者に対して説得力のある提示をされるよう要望します。

問 浄化槽設置推進事業では何件ほど補助を行うのか。

耐震診断委託を実施

問 農業振興費の水田農業構造改革事業について説明を。

企画振興課長 従来は転作者に対して補助を行ってきたわけですが、産地づくり助成金として、大豆、そばを作る方に対して転作補助金にプラスして助成する事業です。集荷円滑化対策加入促進委託については、米作りを農協に委託する事業です。

問 桜についてはテングス病が懸念されるが、テングス病が発生した場合の桜の防除対策について、町ではどのような処理を行うのか。また、松くい虫の処理方法は。

企画振興課長 桜のテングス病については専門業者に依頼をし、枝を切り、燃やす等の処置を施しています。また、松くい虫については、ビニールシートの上にある程度の大きさに木を切り、それを並べて薬をかけ、ビニールシートで覆って外に出さないような処置、対策を施しています。

意見 桜が成長すると、町の貴重な財産だと思うので、今後とも守っていただくよう、要望します。

問 有害鳥獣防除は長年の懸案であり、町でも毎年駆除委託等をして対策を進めているようだが、現実的にはなかなか効果が現われていないように感じているので、予算編成の際に、少しずつでも後に残るような形、目に見えるような形で対策を施していただきたい。地域の方々、農業者の方々に對して具体的な方策の周知はしているのか。

企画振興課長 有害鳥獣問題については、地域住民の方々、農業者の方々より苦情等も町に寄せられているのが現状です。町も手をこまねいているわけではなく、17年度についてはイノシシの檻に発信機を取り付け、捕まったらすぐに捕獲に行く体制も整えてまいりました。また、動態調査も行っていくきます。また、電柵の檻についてはモデル地域

を指定して行っていくたいと考えています。また、現在のライフル型モデルガン1基に加えてピストル型のものを購入してサルが居住地に近寄らなくなるような対策を講じていきたいと考えています。

問 県においても観光立県を唱えている中、観光振興事業費が昨年度の201万7千円から今年度は108万6千円と大きく減額となっているが、減額の理由は。

企画振興課長 観光パンフレット作成費の減によるものです。

問 公園用地借用経費についての各地権者と交渉の経過説明を。

建設課長 去年1年間交渉にあたり、4名中2名の方からは減額しても良いとの返事をいただき、18万2千円を平成17年度から減額させていただいています。

問 新規の木造住宅耐震診断補助事業はどのような内容か。

建設課長 阪神淡路大震



昭和56年以前の木造住宅を診断予定

災や中越地震で木造家屋が倒れ、死亡者が多いというところで、国、県から調査をせよとの指示があり、町では今回20軒の調査をする予定です。1軒につき3万円ほどかかる

予定ですが、個人負担はありません。対象家屋は昭和56年5月31日以前に在来工法で建てられた木造住宅です。

問 検査方法、検査者、昭和56年以前に建てられ

た住宅が町内にどれくらいあるのか。

建設課長 検査者は耐震診断士という資格を持つ建築士で、柱の傾きや基礎の状況等を見て、診断結果によって補強が必要かどうかの結果が出ます。町内の対象家屋数については町内家屋全体の5分の1ほどあるのではないかと思います。

意見 個人でそのような検査をするのは困難なの

新規事業で木造住宅



幅員の広がった宮下中野線

で、役場のほうで安心できるような対策を講じていた。だいたい。

問 道路橋りょう費が昨年度に比べて大きく増額となっている理由は。

建設課長 町道宮下中野線の17年度分の工事費と、県から移管された中学校裏の公共用地に道路の付替工事をする工事請負費

が主な理由です。

問 小学校のパソコン借上料が前年度比68%の大幅な減になっているが、この理由は。

教育次長 平成11年11月から平成16年10月の5年間をもってリース契約が終了し、それ以降は低価格による再リースとなったためです。

問 中学校の多目的ホールを使いたい場合は教育委員会に申し込んで、使用料などもその時に聞けばよいのか。

教育次長 学校の行事等の関係がありますので、とりあえず学校に確認していただき、空いているということになれば教育委員会に申し込んでいただければいいと思います。使用料については、基本的に社会教育のためにする事業等についてお貸しするということですので、通常は無料で考えています。

問 町民がグループでイベントなどをしたいというような場合にも無料ということか。

教育次長 そのような個人的な目的のためにはお貸しできません。

問 心をたがやす国語力向上推進事業について詳細な説明を。

教育次長 県教育委員会指定の事業で、小中学校ともそれぞれ指定をされており、16年度、17年度



防犯体制の強化を図る小学校

の2年間の研究事業となります。内容については、最近子どもたちの国語力の理解度が少ないということから、実施をしている事業です。

意見 大阪府寝屋川市で発生したような殺傷事件がいつ発生するかもわからないような社会情勢になっているので、町でもなお一層地域との連携も強化され、防犯体制を強化していただくようお願いいたします。

教育長 避難訓練を重ね

ながら、指導、徹底を図っています。また、学校内への不審者の侵入への対応については、声をかけながら対応していくこと、名札の着用を要請することなどを指導しているところ。また、小学校については非常に広大な敷地であり、学校としてはインターホンの設置と同時に施錠をしなければならぬと考えているところであり、実際に施錠をして防犯体制の強化を図っています。

環境面や経費等を考慮し

町民の下水道利用に向けた普及促進を



着々と進む下水道工事

平成17年度 一般会計当初予算ほか
全議案が全員賛成にて原案可決、同意、承認される

3月定例会議・連合審査会

平成17年度下水道特別会計当初予算

町長提案理由

歳入歳出予算の総額は、2億2千324万7千円で、前年度比6千438万5千円の減額、21・7%の減で、減額の主な理由は、流域下水道負担金及び公共下水道施設整備事業の減によるものです。

歳出の主な内容については、管理総務費では、事務経費・公共下水道運営事業費・流域下水道負担金等で2千476万9千円、新設工事費では、人件費及び新設工事費で1億3千244万8千円、公債費が7千470万円となっています。西桂町公共下水道整備事業費としては、国道139号の

旧Jマート付近信号から第2分団消防詰所付近までの管渠布設工事外6件を実施します。公共下水道実施設計等委託では、県道舗装本復旧測量業務委託外3件を実施します。

意見

供用開始になるということで、下水道使用料359万2千円を見込んでいますが、実際に皆さんに下水道を利用してもらわなければ収入は入ってきません。いろいろとお金もかかるし、環境的な面も考えて地域住民の皆さんに何とか利用して

いただきたいということをよく説明し、真剣に取り組んでいただきたい。

水道課長

3月に入り柿

園、倉見で3回ほど説明会をし、出席者も倉見地区では80世帯中23世帯、柿園地区では181世帯中82世帯に対して説明しました。合計で268世帯ありますが、逐次、受益者負担金の集金の際に、個々の世帯に対して説明と加入の要請をし、接続率の増加を図りたいと考えています。

問 平成16年度にはどれくらいの接続件数があったのか。

水道課長

32世帯中23世帯、71・8%の方が接続を見込んでおりますので、非常に成果が上がっていると思っています。

意見

下水道、簡易水道の地方債の状況について、資料を議会に提示していただきたい。

将来の町づくりに向けた 投資の努力を積極的に

一般会計当初予算賛成討論



石原 滋 議員

3月11日に提案された平成17年度一般会計予算は、歳入歳出それぞれ17億2千523万円が計上され、前年度当初予算と比較して6千952万円の減額、率にして3・9%の減となる予算であります。

地方財政を取り巻く厳しい状況が当町においても決して例外ではない中、歳入においては、自主財源の効率的な配分をするとともに、基金の弾力的な活用を図るとい、財源確保に対する町長を始めとした執行部の意図が反映された内容となっております。

歳出では、最重点事業

として、昨年度からの継続で、町道宮下中野線拡幅改修工事が計上されています。広域的な道路整備のニーズが従来にも増して高まる中、宮下中野線は国道139号線の渋滞解消のためのバイパスとして大いに期待されており、我々議会としても事業の予定どおりの進捗にさらなる期待を申し上げるものでございます。

現在は、国・地方自治体ともに厳しい財政運営を強いられており、当町のような小規模町村においては、今後ますます財政運営も厳しくなるのではとの予想もされている中で、本年度は職員等の旅費日当の削減など、町長を始めとする執行部の歳出抑制に向けたご努力は大変なものがあると思いますが、さらに歳出抑

3月定例会は平成17年3月11日に招集され、同日に本会議、この後会期中に連合審査会、本会議が開催され、15日間の会期をもって、25日に閉会いたしました。

町執行部より同意1件、承認2件、議決案件5件、条例7件、補正予算7件、当初予算7件、議員発議による意見書1件が提案され、全ての議案が全員賛成にて、原案のとおり可決・同意・承認されました。

また、指名推選による選挙1件が行われました。

制、財源の確保に努めていただき、将来の町づくりに向けた投資の努力を積極的に行っていただきたいと、切に願います。

今後とも町長及び執行部にさらなるご活躍を期待するとともに、無駄のない行財政運営をお願いいたします。平成17年度一般会計予算についての私の賛成討論といたします。

平成17年度簡易水道特別会計当初予算

町長提案理由

歳入歳出予算の総額は、1億5千61万7千円で、前年度比3千923万6千円、35・2%の増で、内容は、北富士演習場周辺水道設置助成事業の増加です。

歳出の主な内容は、水道管理費で、施設維持経費、検針、漏水調査等経費1千360万6千円、水道維持費は、漏水等の修理、水質検査等で95万8千円、水道改良費では、1億1千42万3千円、公債費1千651万円、予備費50万円を計上し、平成17年度の新高区整備事業では、北富士演習場周辺水道設置助成事業により第2配水池の用地買収・地質調査・設計委託・配水池築造工事等の費用を計上し、配水管整備事業では、中学校裏の道路拡幅工事に伴い配水管布設工事外4件を実施いたします。

問 継続費の説明を。

水道課長 配水場築造工事として17年度は4千320万3千円、18年度は1億88万1千円で2ヶ年の継続事業として執行するものです。

問 起債の返還は水道料金の上昇等で対応か。

水道課長 水道料金の改定は5年を目途にしており改定から3年目ですので、5年ほど経ったところを考えます。

問 タンクをもう1基作れば水は十分余ると思いませんか。

られるが、この余水の利用方法は、

水道課長

12時間給水になると水が余りますが、当面は検討を重ねる事項かと思えます。

問

水質検査の164万6千円は高いと思うが、委託先と検査内容は、

水道課長

社団法人山梨県食品衛生協会に委託し、検査の内容は、水質管理の設定項目として24項目の他、原水40項目、浄水50項目、毎月9項目の検査、追加でフッ素、選定検査、クリプトスポリジウム検査、水質管理の目標設定項目です。

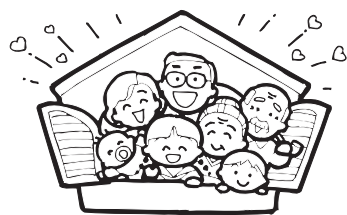


第2新高区配水池予定地（タンク手前）

出産育児一時金に上乘せの考えは？ 次世代支援事業等で考えていきたい

3月16日連合審査会

平成17年度国民健康保険特別会計当初予算



問 17年度当初予算の額は3億8千888万3千円で16年度実績よりも1千200万円くらいは当初から少ない予算でスタートするということが、国民健康保険特別会計が年々減っていくようなことは考えられないように思うが。

住民福祉課 老人保健拠出金を見ていただければわかると思いますが、これが1千400万円ほど減額になっています。対象年齢を5年かけて75歳にもっていきますので、老人保健拠出金の関係で減額になったものです。

問 出産育児一時金1人30万円を、町独自に3万円でも5万円でも上積みして助成するというようなことはできないのか。

住民福祉課長 政策的要素が強いものですので、町長のほうからお答えしていただきます。国保会計から単独で見るということは難しいと思います。

町長 国保のほうではたいへん難しいことになろうかと思いますが、次世代支援事業とかの事業で考えてもいけると思いますが。現時点ではまだそこまで考えていません。

問 出産育児一時金はどのように支給されるのか。

住民福祉課 出生届の受付の際に申請していただき、その月に支払うという形を取っています。帝王切開する場合等については医療費になります。高額医療で支払う形になりますので、2ヵ月後の支払いになります。

平成17年度介護保険特別会計当初予算

問 介護保険事業の事業債とは何か。

住民福祉課 介護保険では基金積立がないので、介護事業債を起します。県内の各介護保険の保険者が財政規模に応じてお金を拠出し、県が運用して貸し出します。

金利は低利ですが将来返さなければなりません。

問 情報化推進事業、電算委託料は何か。

住民福祉課 介護保険事務処理システム保守委託料については、18年度からの介護保険制度の見直しに伴う臨時的経費です。

次に、介護認定用パソコン保守委託料については、厚生労働省が提供するシステムに基づいて機

械処理をするためのパソコンの保守料です。

また、使用料及び賃借料ですが、介護保険システム全体の機器とソフトウェアのリース料です。

問 認定審査会共同設置負担金が16年度に比べて減額の理由は。

住民福祉課長 介護認定審査会規約の改正に伴う人数削減のためです。



子育てはたいへんです

平成17年度 予算の主な事業

活・活西桂建設のための重点施策

事業名	概要	予算(単位:千円)
自然との共生づくり		
循環型地域社会の形成・生活環境問題の解決 (住民福祉課)	廃棄物対策事業、ゴミ収集委託、資源化物回収委託、粗大ゴミ最終処分委託、不法投棄処分委託、電動生ゴミ処理容器補助、生ゴミ処理ボックス補助、EM菌用生ゴミ処理容器補助、ゴミステーション設置改良補助、浄化槽設置整備補助、桂川クリーンキャンペーン、寿クラブ町内清掃	1,957万8
コミュニティづくり		
健康・生きがいづくり活動の活性化 (住民福祉課)	健康づくり事業、乳幼児医療費助成、子育て支援事業、各種予防接種、各種検診・訪問指導、健康相談等、ボランティアコーディネーター設置、生きがいづくり活動事業	3,912万5
総合的な福祉窓口の設置・福祉行政の総合化 (住民福祉課・社協)	結婚相談所運営委託	17万5
子育て支援方策の推進 (住民福祉課・保育所)	延長保育、一時保育障害児保育、児童館運営、放課後対策、幼児教室開催	1,383万9
民間とともに進める介護サービスの拡充、地域内交流の促進 (住民福祉課・社協)	社会福祉協議会での介護予防事業(通所サービス、生活援助サービス等)、各種在宅福祉サービス(一人暮らし老人への訪問理髪、配食サービス)	163万8
高齢者雇用の促進 (企画振興課・グリーンセンター)	桜の里管理事業、三ツ峠そばの芽栽培事業、三ツ峠体験工房運営事業	528万0
地域内交流の促進 (住民福祉課)	要介護者・介護慰労者への在宅福祉事業、居宅生活支援、精神障害者居宅生活支援事業	780万4
育ち学ぶ環境づくり		
教育施設の充実と地域開放の促進 (教育委員会)	中学校前庭等外構工事(トイレ等)、中学校体育館耐震診断・塗装工事、小学校運動場水道改良工事、プール屋根ガラス張替工事、小学校南館・体育館耐震診断、中学校図書室開放事業	2,779万7
個性を育む学校教育の推進 (教育委員会)	小・中学校でのインターネット利用、小・中学校SSC事業(授業支援者)、英語助手の活用	1,820万5
地域ぐるみの青少年育成活動の活性化 (教育委員会)	青少年育成総合対策事業(生活体験・自然体験・家庭教育セミナー)	142万0
生涯学習機会の拡充、生涯スポーツの振興 (教育委員会)	趣味・生きがいを学ぶ各種教室、IT講習会、社会教育学級、生涯スポーツ教室、各種スポーツ大会	423万0
活 力 づ く り		
都市部との交流に資する農林業振興 (企画振興課)	特産品開発、農村写真コンテスト、有害鳥獣防除事業、そば打ち腕自慢大会、講座・教室交流体験事業、サツマイモ掘り・トウモロコシ等収穫体験、ホテル祭り、さくら祭り	549万9
遊休農地の活用、地域活動グループ支援事業 (企画振興課)	共同農園整備・貸付、水稻振興対策事業、中山間地域等直接支払制度推進事業、生活改善グループ細会助成、りんご研究会助成、みつとうげ手織りの里グループ補助	153万6
商工業の振興(企画振興課)	商工会補助、織物工業協同組合補助、小規模商工業者助成	980万0
グリーンセンターにおける交流拠点の形成(企画振興課、センター)	ふれあい館利用者拡大事業、施設管理費、特産品販売事業	2,768万9
ふ る さ と づ く り		
ふるさと景観の整備 (企画振興課)	桜の里管理事業、シバザクラ植栽事業、松くい虫対策事業、松くい虫枯損木除去事業	400万1
農業基盤の整備(建設課)	町単農道整備事業[尾尻農道支線新設工事]、西海戸道下地内用水改修工事	840万0
都 市 づ く り		
狭隘な道路及び橋梁の改良・整備、町営住宅の更新 (建設課)	尾尻線側溝改修工事、三ツ峠線改良工事、柿園倉見線本復旧舗装工事、宮下中野線拡幅工事、月夜ノ平団地1号棟外壁防水補修工事	8,280万0
ユニバーサルな町づくり・交通づくり(総務課)	防犯灯設置工事・区要望分17ヶ所、交通事故未然防止のためのカーブミラー設置等	195万4
公共施設の整備・更新 (総務課)	建築物維持保全調査	25万2
簡易水道事業の推進と経営の強化 (水道課)	新高区整備事業、配水管布設事業、町内漏水調査、配水施設修繕事業	9,978万3
公共下水道事業の推進 (水道課)	公共下水道管渠布設工事、公共下水道実施設計等委託、舗装本復旧に伴う負担金等	1億2,430万0
地域防災の推進(総務課)	消火栓移転新設工事、親子防災教室、富士火山ハザードマップ製本	100万7
参 加 と 連 携 づ く り		
男女共同参画社会の形成 (総務課)	男女共同参画社会計画整備事業	72万9
国際理解の推進(企画振興課)	中国・桂林市霊川県との国際交流、環太平洋キャンプ交流事業	404万4
地域情報化の推進、総合行政システムの拡大、情報公開・行財政評価への取り組み(総務課)	ホームページ機能拡充整備事業、総合行政システム運用事業、職員系ネットワーク運用事業、行政間ネットワーク運用事業、町例規集のデータベース管理	5,666万8
町民主体の体制整備 (企画振興課、教育委員会)	市町村合併研究調査会、ふるさと夏祭り	363万5
職員研修・人材育成促進 (総務課)	役場職員自主研究グループ育成助成、山梨県市町村職員研修所管理・研修負担	109万4
平成17年度 配当事業経費 合 計		5億7,339万1

サル出没時に、防災無線や 拡声器を使った住民への周知を

3月16日連合審査会

平成16年度 一般会計補正予算第6号

問 公共施設整備基金に8千3百万円積立をされたが、その理由を教えてください。

総務課長 職員一丸となつての経費節減と歳入の増加により余力が生じたためです。

意見 財政厳しい折にも関わらず、基金に積立ができたのは努力の賜物であり、なお一層今後とも努力をしていただきたい。

問 松くい虫防除対策事業費が減額になっているが、松くい虫の被害は衰えていないように思う。減額になった理由は。

企画振興課長 伐倒駆除を春に実施、伐倒薬剤を秋に実施という2種類の対策を施しています。実施面積は双方とも50立方、計100立方の範囲で、南都留森林組合に委託して事業実施をしています。場所については下暮地区を町のほうで指定し、所有者のご理解をいただ

く中で実施しています。比較的楽に作業できる場所だったので、予算が減額になりました。

意見 塵芥処理費とし尿処理費が、町の予算総額に相当な割合を占めているので、この費用を減らす努力を。

問 有害鳥獣防護柵補助金が減額になっているが、事業費の使途、対策は。

企画振興課長 県の補助ですが、基準が2アール、持っている方が3名以上の土地というエリアの問題や共同設置についての話し合いがつかずに申し込みがなかったため、減額になったものです。

意見 サル対策については、ただ発信機を付けただけに過ぎないという理解をしている。発信機を付ければエリアがわかるが、三ツ峠を降りてきたような場合には防災無線や拡声器を使っ



サルの檻を設置してはあられるけれど...

て住民に周知するなどの対策もお願いしたい。

問 働きざかり花の実年検診は何名の方々が受診されたのか。

住民福祉課長 当初の見込みでは90人の予定でしたが、実際の受診者は82人でした。

意見 予防の意味での検診が一番大切であり、なるべく多くの方々が受診できるように方法を考えるて努力をしていただきたい。

意見 観光費が減額とな

っているが、町の観光振興、グリーンセンターにお客さんをお呼びするために経費を有効に活用していただきたい。

問 商工業振興費の利子補給等補助金について、これは町長が地域振興、産業振興のためということで選挙の時に公約されて実現をしたもので、商工業者の方々もたいへん喜んでいらっしゃるということで、64万2千円の減額となっている理由と借入

3月定例会 審議案件

【同意】 1件

同意1 西桂町公平委員会委員選任につき同意を求める



武藤澄太郎 委員
(上町地区)

【選挙】 1件

選挙 鹿留山恩賜県有財産保護組合議会議員選挙



渡辺正治 議員
(倉見地区)



渡辺 聖 議員
(柿園地区)



渡辺康雄 議員
(上町地区)

【報告事項】 2件

承認1 専決処分事項の報告(富士吉田市外1市2町5村1組合指導主事共同設置を組織する地方公共団体の数の減少および富士吉田市外1市2町5村1組合指導主事共同設置規約の変更に関する協議)○秋山村の上野原市への合併に伴う規約変更

◀ 12ページへ続く ▶

3月定例・補正予算の主な内容

会 計 名	補 正 額	補正後の予算総額
議案26 一般会計6号補正	6,587万6千円	18億9,645万4千円
○公共施設整備基金積立金 8,300万円 公共施設整備のための基金積立です。		
○その他事業費確定に伴う更正 △1,712万4千円 決算見込みを出す中で、事業費確定した経費について減額・追加したものです。		
議案13 国民健康保険会計3号補正	398万円	4億498万6千円
○退職被保険者等療養給付費の追加 473万4千円 医療費の支払動向から保険給付費、療養諸費の一般と退職の3ヶ月分支払い見込み額を追加計上しました。		
議案14 老人保健法会計4号補正	3,328万7千円	4億6,597万1千円
○医療給付費・医療費支給費の追加 3,328万円7千円 利用費支払動向から、医療給付費における1月～3月の支払い見込み額を追加計上しました。		
議案15 介護保険会計3号補正	△1万1千円	1億9,107万円
○事業費確定に伴う更正 △1万1千円 決算見込みを出す中で、事業費確定した経費について減額・追加したものです。		
議案16 グリーンセンター会計2号補正	△399万円	5,797万1千円
○施設・総務管理費、特産品販売事業費の更正 △399万円 事業費確定に伴い、それぞれの経費を減額更正しました。		
議案17 簡易水道会計3号補正	104万2千円	1億2,082万9千円
○簡易水道事業費の追加 104万2千円 漏水による緊急修理代不足したため追加したものです。		
議案18 下水道会計2号補正	△1,220万7千円	2億6,772万1千円
○事業費管理費の減額 △840万7千円 ○事業費新設費の減額 △380万円 桂川流域下水道建設事業費確定に伴う追加と公共下水道事業費減に伴う需用費を減額更正しました。		



献血・健診にご協力を

総額を教えてほしい。

企画振興課長 予算減額の理由としては4月1日から12月末までの9ヶ月分でしたので減額となりました。

借入総額は平成14年4月1日から借り入れた金額が1億3千890万円、3年で割ると平均17件になり、1件あたり平均227万3千円となっています。

意見 これは町長の公約でもあり、この件についてはぜひとも奨励しています。

ただし、地域産業の振興のために今後一層ご努力をお願いしたい。

町長 今回は9ヶ月分ということ、今後はもっともつと増えてくると思います。

5年限定ですが、いずれにしても小規模の人たちが多いわけですから、その人たちの活性化のためにもやっていきたいと思っています。

よろしくご協力をお願いします。

一般会計からの繰入金を ゼロにするため、さらなる努力を

3月16日連合審査会

平成16年度 グリーンセンター特別会計 補正予算第2号

問 繰入金をなるべくゼロに近い額にしていたいただきたいと思うが、執行部の見解は。

企画振興課長 お客様の利用増加と歳出の削減努力により、今年度は450万円の減額、300万円になったわけです。

今後も、頑張つて何とかゼロに近づくようにしていきたいと思っています。

問 特産品販売が合計で813万8千円となっているが、その内訳は。

企画振興課 そばの芽が495万円、バナジウム水が82万円の見込、一般の水の減額分を入れて35万6千円の減額補正となっています。

問 収支決算でそばの芽が実際に黒字なのか、人件費を入れて赤字なのか。
企画振興課 出荷分は、2月末に締めた金額で390万円、売店等の売り上げで95万円、2月末現在で495万円の収入が

ありました。人件費が2月末で421万8千円、あと1か月分支払います。それに郵送代、光熱水費、材料費、雑費を含め支出が506万5千円で、差引き10万6千円現状で赤字です。

問 ログハウス使用料が減っている理由及び商標登録についての見解は。

企画振興課 ログハウスの使用料については、去年に比べて2月現在で5人棟の使用回数が20回程度、月平均にして1・5回ほど減っています。使用したグループ数は去年に比べて増えているわけですが、1回あたりのグループ利用者数が減ってきており、減額の要因となっています。

商標登録については出願を2月27日に特許庁に申請してあります。特許庁で受け付けた順番、分野ごとで1年以上かかるということです。

意見 もう1度啓蒙していただき、ログハウスの利用者が増えるように努力していただきたい。

企画振興課長 ログハウスは土日、祭日プラス夏休み、春休み、冬休み等の限られた利用になっています。利用状況を上げるよう努力します。

問 宿泊料金について、他の施設の調査をどの程度しているのか、また、料金の見直しについては。

企画振興課長 ふれあい館については2月、6月、

11月の年3回料金を下げて利用促進を図っていますが、ログハウスについても今後そのようなことを検討していきたいと考えています。

問 燃料費については、半期半期、又は、年契約で単価契約をしているのか。

総務課長 半期半期の契約で行っています。

意見 灯油代は年々増えてくると思うので、ぜひ節約していただきたい。



特産品売れてます！

承認2 専決処分事項の報告
(富士吉田市外1市2町5村)

1組合ことばの教室設置協議会を組織する地方公共団体の数の減少及び富士吉田市外1市2町5村1組合ことばの教室設置協議会規約の変更
○承認1と同様

【議決案件】5件

議案1 上野原市及び山梨市の設置に伴う山梨県市町村自治センターを組織する地方公共団体の数の変更
○市町村合併に伴う規約変更

議案2 上野原市及び山梨市の設置に伴う山梨県市町村総合事務組合規約の変更
○議案1と同様

議案3 上野原市及び山梨市の設置に伴う山梨県市町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更
○議案1と同様

議案4 富士五湖広域行政事務組合における共同処理する事務の変更及び同組合の規約の変更
○ふれあいペンダント事業の民間委託による事務及び規約の変更

議案5 富士北麓介護認定審査会共同設置規約の一部改正
○認定審査会委員の定数を削減するもの

【条例】7件
議案6 政治倫理の確立のための西桂町長の資産等の公開等に関する条例の一部改正

○商法改正に伴い、資産公開の対象となる株券の定義を整備する改正

平成16年度 国民健康保険特別会計 補正予算第3号

問 一般被保険者国保税補正額が多いのではないかと思います、見解を。

住民福祉課 当初予算作成段階で、過去の平均伸び率から医療費の伸びを決めて歳出を算定し、その財源不足額を国保税に充てていることから生じています。

意見 財政事情も苦しい折、当初予算をできるだけ過大見込しないよう要望します。

問 財政調整基金繰入金で、保険税収入不足分補填が計上されているが、この内容は。

住民福祉課 退職者の医療費が今年は相当伸び、現時点で400万円以上足りないということで計上しました。

問 一般会計から236万8千円繰入を追加、基金からの繰入は将来的に見直さなければならぬ問題だと思いませんか。

住民福祉課長 国保税の

値上げを検討して、基金取崩しができるだけ少なくてすむよう検討していきたいと考えています。

意見 基金取崩しができるだけ少なくてすむような方法を考えていただきたい。

住民福祉課長 いかに医療費を抑えていくかが、今後の課題です。健康教室を実施していますが、何年も医療費が増え続けているということが現実です。

問 ここ何年か、必ず補正で医療費が増加しているが、高齢化社会の進行が主な原因となっているのか。

住民福祉課長 退職等で国保に入っていたら、入院等が出てきますと非常に医療費がかかります。1件あたりの医療費の増加については今後も見込まれると考えています。

平成16年度 老人保健法特別会計 補正予算第4号

問 対象者数は何人か。

住民福祉課 この会計は主に75歳以上の約580人が対象で、また、65歳から75歳までの方で障害手帳の1級・3級を持っている方20名を合わせて600人が対象となっています。

問 昨年度は65歳以上の方920人という数字が出ているが、前年より対象者が減ったということか。

住民福祉課長 平成14年9月30日までは70歳以上の方が対象だったのですが、今は75歳以上の方が対象となっていますので、65歳から75歳までの間の方は国保等の対象者になります。また、平成14年10月の老人保健法改正により、対象者が75歳に引上げられたため、平成19年10月までは制度の経過措置期間となっており新規に取得する方は、障害認定と転入者だけです。

で、少数となります。

問 老人保健、前期高齢者が70歳以上の対象年齢が変わったと聞いているが、年齢区分の境目について説明を。

住民福祉課 老人保健の特別会計のほうは75歳からですが、昭和7年9月30日生、以前の75歳以下の方も老人保健です。

70歳以上の方は前期高齢者といつて、社会保険も含めて各保険でみることにします。1割負担というのは老人保健と全て同じですが、各保険でみることにします。

問 支払基金交付金はどこから交付されるのか。

住民福祉課 各保険者から集めた金額を老人保健特別会計のほうでいただくものです。老人保健会計には保険料というものがありまので、支払基金からもうような形になっています。



議案7 西桂町職員旅費支給条例の一部改正

○職員等に対する県内出張の日当を支給とする改正

議案8 西桂町税条例の一部改正

○新不動産登記法の改正に伴う改正

議案9 西桂町社会教育委員条例の一部改正

○社会教育委員の効率的な活用を図るための改正

議案10 西桂町文化財保護条例の一部改正

○文化財保護法の改正に伴う改正

議案11 西桂町都市公園条例の一部改正

○都市公園法の改正に伴う改正

議案12 西桂町下水道条例の一部改正

○議案8と同様

【議員発議】1件

発議1 富士山ナンバーの創設を求める意見書

○別記説明

【補正予算】7件

平成16年度各会計補正予算

○別記説明

【当初予算】7件

平成17年度各会計当初予算

○別記説明

着工に向けご理解・ご協力を

平成17年3月定例会

自然との共生づくり

「生活環境問題の解決」についてでは、生活排水の浄化を図るため、17年度に生活排水処理状況調査を行うとともに、河川汚濁防止、水質保全のため合併処理浄化槽設置の整備補助事業も引き続き実施してまいります。

コミュニティづくり

介護予防事業では、「いきいきサロン」と題し、地区公民館を利用し、日頃外出の少ない高齢者に声をかけ、閉じこもり予防、生きがいづくり事業を行っています。

また、一人暮らしの脆弱者を対象に緊急通報シス



蔵書の増加が望まれる中学校図書室

育ち学ぶ環境づくり

テムの設置については、17年度より民間委託をし、健康相談が24時間対応できるとともに、月1回伺い電話サービスを実施する新しいシステムの導入を進めてまいります。

「教育施設の充実と地域開放の推進」についてですが、西桂中学校前庭等外構工事も順調に進み、環境に配慮した外観が整ってきています。17年度は、体育館前駐車場に屋外トイレを設置します。学校安全対策について、大阪府寝屋川市の小学校教職員殺傷事件を受け、再度小・中学校に校内・外での防犯安全対策と児

中学校図書室の蔵書数を1万3千冊に 第2新高区配水池建設をスタート

前田町長所信表明

童・生徒の安全確保について指示しました。両学校には、現在防犯監視カメラが設置されており有効活用されているところですが、都留警察署と協

議し管内の学校とパソコンによる「SNSネットワーク」を構築し、連携・連絡を密にして警察官の巡視・警らの強化等を実施しているところです。

活力づくり

中学校図書室開放ですが、蔵書冊数は9千415冊で、幼児・児童・生徒用図書で8千980冊、一般用図書435冊です。現在までに計13日間一般開放を実施し、利用人員257人で、貸し出し冊数208冊です。今後も年次計画で図書購入を進め、1万3千冊にしたいと考えています。

「商工業の振興」について、平成16年度より実施した小規模商工業者助成事業は、小規模商工業者の経営基盤強化を図るため利子補給金の制度を確立したことにより申請が51件あり、事業効果が図られました。

ふるさとづくり

「ふるさと景観の整備」についてです。さくら公園の芝桜については、訪れる方々から大変な好評をいただいているので、平成17年度は、県の助成事業を受けて5千株を植

都市づくり

栽していく予定です。また、松くい虫対策については、松くい虫防対策補助事業を導入して実施してまいります。

まず、「狭隘な道路及び橋梁の改良・整備」では、町道宮下中野線の拡幅工事を町の主要事業に位置付け、17年度については、残りの工事及び尾尻線側溝改修工事を継続するとともに、長年懸案でした町道三ツ峠線の内、幅員が狭小である入田地区の拡幅工事及び柿園倉見線舗装復旧工事についても実施します。

また、中学校裏埋立工事については、工事の完了により、今年の1月14日付けで町に管理が移管されましたので、17年度事業で道路の付替え工事を実施したいと考えています。また、県道富士吉田西桂線については、3月1日に倉見地区、3月2日に上町地区の説明会を関係者及び道路関係

県道富士吉田西桂線の早期

● 平成17年度各会計当初予算計上額 ●

会 計 名	予 算 総 額	前年との比較
議案19 一般会計	17億2,523万円	6,952万円の減
事務事業の精査などを行い、歳出の抑制に取り組む中で編成した予算となりました。国道の渋滞緩和のため、中学校裏の宮下中野線拡幅改良事業の継続、その他農道・農業用水路関係で2件、道路改良6件、月夜ノ平団地1号棟外壁防水補修工事等の工事を施工します。		
議案20 国民健康保険特別会計	3億8,888万3千円	572万3千円の減
歳出では、老人保健拠出金で前年度比1,449万4千円の減額となりましたが、対象年齢が70歳以上から75歳以上に引き上げられたことにより増えます。		
議案21 老人保健法特別会計	3億7,649万2千円	112万1千円の減
国保会計同様、対象年齢が引き上げられたことにより減額となりました。		
議案22 介護保険特別会計	2億843万5千円	2,251万6千円の増
歳出では、保険給付費が1億9,498万7千円で前年度比1,917万円の増額見込みで計上しました。		
議案23 グリーンセンター特別会計	5,563万1千円	414万4千円の減
歳入では、ふれあい館使用料2,422万9千円、ログハウス使用料898万7千円、特産品販売収入800万2千円等を計上します。		
議案24 簡易水道特別会計	1億5,061万7千円	3,923万6千円の増
歳入では、水道使用料4,331万9千円、国庫補助金2,853万円、一般会計繰入金3,616万6千円、水道事業債4,030万円等の計上です。歳出では、H16年度に引き続いて新高区配水場建設事業（配水管敷設工事等）に7,346万4千円、水道施設整備事業に2,191万4千円、維持補修事業に793万2千円等の経費を計上いたしました。		
議案25 下水道特別会計	2億3,241万7千円	6,438万5千円の減
歳入では、国庫補助金5,000万円、一般会計繰入金9,909万5千円、下水道事業債7,330万円、受益者負担金636万1千円等を計上しました。歳出では、公共下水道運営事業840万1千円、桂川流域下水道負担金1,510万3千円、公共下水道施設整備事業1億2,430万円を計上いたしました。16年度より一部共用開始となりました。		



団創設以来の消防庁長官表彰旗

者で行ったと報告を受けています。関係者の皆様には、ご理解とご協力をいただき、一日でも早く工事に着手できることを切に願う次第です。

続いて、「簡易水道事業の推進と経営の強化」についてです。簡易水道事業については、防衛庁補助事業である北富士演習場周辺水道設置助成事業として、さらに12時間給水を行う第2新高区配水池の建設に向け、横浜防衛施設局と事業計画の協議が整い、実行計画書を提出し、4月には内定

通知を受け事業を実施する運びとなっています。

続いて、「公共下水道事業の推進」についてです。下水道事業については、4月から倉見・柿園・下暮地区の一部268件が供用開始区域となります。区域内に土地や建物を所有している方は、下水道に接続していただくようご協力をお願いいたします。

表彰旗を頂きました。これも歴代の団長や団員の方々のご活躍によるものとあらためて敬意と感謝を申し上げます。

参加と連携づくり

「国際理解の推進」について、平成17年度は引き続き中国桂林市霊川県と行政・教育・食文化等幅広く交流し、相互理解をより深め、心と心の国際交流を展開し、末永く友好関係を築けるよう中学生を同行させる計画です。関係各位の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

続いて、市町村合併については、議会及び町民各位の意見等により、当分の間単独で運営することになります。今後も引き続き三位一体改革や国・県の動向を踏まえながら、行財政全般を検討し、厳しい状況の中にあっても、よりよい行政運営ができるよう努力してまいります。

いっぱん

質 問



町政を問う ここが聞きたい!!

健全で効率的な行財政運営の結果

基金残高(貯金)が地方債残高(借金)を上回る

問 町の基金と地方債の状況
今後の見通しは

答 一般会計では1人あたり
3万4千円基金が上回っている



滝口幸雄 議員

問 三位一体改革を推進するための「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2004」に基づき地方団体の安定的な財政運営に必要な地方交付税や地方税などの一般財源の総額は確保するとの方針が決定されましたが、国庫補助、負担金改革や税源移譲等の問題もあり、依然として厳しい状況が続くと思われます。

町長 基金と地方債の状況及び今後の見通しについて、具体的な見解をお伺いいたします。

現在、町の基金と地方債の状況及び今後の見通しについて、具体的な見解をお伺いいたします。基金と地方債の状況について、財政の健全な運営に資するための基金である財政調整基金をはじめ、公共施設等の建設事業に充てるための基金や、その他特定の事業目的に充てるための基金など、全部で19の基金を設置しております。基金の保有額につきましては、平成16年度末基金の保有見込額は13億4千435

万2千円、町民一人あたり約27万2千円でありま

す。次

に地方債についてであります。これまで、地方交付税や国庫支出金などの確保等に積極的

問 簡易水道事業債、及び下水道事業債

の16年度末地方債残高14億2千543万1千円を含めた地方債全体の状況について、お尋ねいたします。

町長 簡易水道及び下水道事業債を含めた

の推進を図ってきたところであり、平成16年度末の地方債の現在高見込額は21億3千270万7千円、町民一人あたり約43万2千円となっております。その内交付税措置分は、およそ9億5千758万5千円、一人あたり約19万4千円であり、差し引きでは、11億7千512万2千円となり、一人あたり約23万8千円が実質の借り入れとなつ

ており、差し引き3万4千円基金残高が上回っております。簡易水道事業債、及び下水道事業債の16年度末地方債残高14億2千543万1千円を含めた地方債全体の状況について、お尋ねいたします。

付税措置分は、約18万8千円あります。実質約4万8千円が借り入れとなつております。一般分と併せた総額では、35億5千813万8千円となり、町民一人あたり約72万1千円となります。その内交付税措置分は、約38万6千円ありますので、実質約33万5千円が借り入れとなっております。先にお答えしました、基金と比較いたしますと6万3千円ほど起債が多くなるわけですが、ご承知のとおり、簡易水道及び下水道事業については、使用料による収入の中で賄うことが原則となっておりますので、ご理解いただきたいと思います。

問 行財政改革取組状況と今後の方針は

答 「改革断行予算」の基本路線を堅持・継続

問 行財政改革取組み状況と今後の方針は。

町長 行財政改革のうち、財政関係について、

昨年は、地方分権の実現、地方財政の自立に、極めて重要な意味を持つ年でありました。国は昨年三位一体改革の全体像をまとめましたが内容について多くの課題が先送りされ、地方財政自立改革の大義が見て取れない結果となりました。今後は、平成19年度以降の改革が議論される第2幕に向け、町村会等を通じて国に対し強気に働きかけます。

三位一体改革の名の下に一方的に行われた地方交付税や臨時財政対策債の大幅な削減は依然として解消されず、地方財政運営は極めて厳しい対応を迫られ、予断を許さな

い状況です。昨今の経済情勢や国の財政見通しを踏まえると、このような厳しい状況は当分の間続くものと考えざるを得ません。このため公債費などの義務的経費が増加していく中で、新しい行政需要への的確な対応が求められるなど、極めて厳しい財政運営を迫られることが確実です。

この財政危機を克服していくためには、三位一体改革の動向や中長期の収支バランスを視野に、歳出の徹底した見直しによる抑制と、地方分権時代にふさわしく、より簡素で効率的な行財政システムの確立が不可欠であり。このため、平成17年度中に抜本的な事務事業の見直しや歳入の確保策に加え、組織体制の見直しによる行政の効率化

どの具体的取り組みを検討します。また、行政の責任分野や経費負担のあり方など、住民ができることは住民自らが積極的に取り組んでいける体制づくりも必要になってくると考えています。

平成17年度予算については、「改革断行予算」という基本路線を堅持・継続し、一般会計歳出及び一般歳出水準を実質的に前年度以下に抑制し、基本的な考え方の下に編成し、職員等の旅費日当の見直し、事務事業の精査などを行い、歳出の抑制に取り組みしました。

この基本姿勢を堅持することで町が単独で存続できるものと思っております。

行政改革は、職員が自主的に改革に取り組むことが肝要です。日々、職員が一丸となり行政改革に努めてまいります。

行政改革の推進には、議会や関係者のご意見を賜り、成果の見えるよう努めます。

「富士山ナンバー」創設のため 国に対して意見書を提出

あなたの
請願・陳情は



「富士山ナンバー」創設を 求める意見書（要旨）

富士山と富士五湖に代表される美しく豊かな自然環境を有する富士五湖地域は、国際的観光地として、国内外から毎年多くの人々が訪れています。また、富士山麓は、山梨県と静岡県に行政区域が分かれていながらも、古くから歴史的、文化的な交流が深く、この一体的な地域に「富士山ナンバー」を創設することがふさわしいものであります。

「富士山ナンバー」を創設することは、富士山麓の活性化と振興に大きく寄与するものと確信し、これを念願し切望するものであります。

よって、国並びに関係機関に対し、富士山を中心として、山梨県と静岡県にまたがった一体的な地域への「富士山ナンバー」の創設について、特段の配慮を講じられるよう要望するものであり、以上、地方自治法99条の規定により意見書を提出します。

平成17年3月25日

提出先 内閣総理大臣、財務大臣、国土交通大臣、山梨県知事、静岡県知事

全議員に配布しました

陳情1 「市場化テスト」や「給与構造見直し」に反対する意見書の採択を求める陳情

○提出者 日本国家公務員労働組合連合会
○要旨 公務・公共サービスの民営化や「市場化テスト」は行わないことなどを趣旨とする意見書を採択し、関係機関へ送付を要請

陳情2 介護保険制度の見直しの改正にあたり「改善」を求める陳情書

○提出者 介護保険改善反対山梨ネット
○要旨 要支援や要介護1などの介護者の現行の介護保険サービスを給付対象から除外しないなど、制度の改善をしないよう要請

みんなの声

西桂町議会では、議会だよりを通じて町議会や町に望むこと、議会だよりを読んだ感想などを募集しています。

皆さんの貴重なご意見・ご感想などを今後の議会活動に反映させてまいりますので、積極的なご参加をお願いいたします。

- ★ 中学校の多目的ホールを
成人式等の開放に使用できる
事を知りました。
- ★ 議会構成の一覧表を各議員の
役職がわかりました。

- 町のバスは、どのような利用基準が
あるのでしょうか？教えてください。

- 児童館の企画にはいつも参加させて
いただいています。他の市町村妙も非常に
活発なようです。うちがこれからは、
この町で子育てできることも、うれしく
思います。

議会だよりを通して町政の
指針と議員の活躍を知る事が
できます。町の将来に夢が膨らみます。

議会だよりを読んで感想。
私達の選んだ議員の才が、それぞれ分野を
分け活躍されている様子がよく分ります。
また、かつりい富んた橋本にも大変読みやすく、
今後の来（み）で活躍して。
ますますの御活躍を御期待中（は）です。

今年度より成人式を中学校の多目的ホールを利用
したい事を知り、市民の方々が利用出来る事は
大変うれしく、若い人々が来（き）る事かと
思います。

① 役場前マイク信号
希望
② グリーンセンター付近の
明がよ、町づくり、もす、アピールを

1. 感想・意見
あけましておめでとうございす、
毎回、議会だよりを楽しみにして
読ませていただいております。
お休みの充分ご留意の上、當
分、ご研鑽を怠りません

注射の所に子供がうつっていて
びっくりでした。でもアルバムに貼
りました。

議会だよりには毎年楽しく読ませて頂いて、
防災無線による朝のメロデーですが、現在
「恋は水色」という曲が流れておりますが、
曲について幅広い年代の皆さんに聞いてみ
たが、男を向わずほとんどの人が曲
名・メロディーともに、わかりませんで
す。もう少し親しみのある曲か
ら、選んでいただくといいと思います。

お答えします

「みんなの声」のご意見・ご質問に回答いたします。

意見 役場前信号機の倉見
をもう少し長くしてもら
いたい。

で、もっと親しみのある
曲にしてほしい。

答 現在の状況は通行量
調査の上で設定され
たものですが、町行政に
都留警察署と再度協議す
るよう働きかけました。

答 防災行政無線の新規
導入により同曲1曲
にしていたようですが、
四季折々の曲としていた
だくよう町行政に対して
お願いをしているところ
です。

問 町のマイクロボスの
利用基準を教えてください。

意見 町内の高齢者が入浴
をもっと利用するよ
う、町のバスを送迎に出
してもらいたい。また、
県内外に向けたグリーン
センターのPRを協力を
お願いしたい。

答 西桂町マイクロボス
管理規則の運行許可
基準によりますと、利用
者は町内の団体、利用目
的は住民福祉向上のため
の事業の実施・参加、あ
るいは調査・研究・研修
を目的としたもの、利用
時間は午前7時から午後
6時まで、利用人員は10
名以上、利用日は休日
を除く日、運行範囲は山梨
県内に限ることです。

答 現在もグリーンセン
ターワゴン車を活用
して町内利用者につい
ては送迎をしており、利
用の際には電話等にてセン
ターへの確認をお願いし
ます。

また、PRについては
県の観光施策を踏まえ
ながらインターネット等
の活用も進めていく予定
のことです。

意見 午前7時のメロデー
「恋は水色」をほと
んどの人が知らないの

地域で活躍する団体を訪ねて その24



よさこいソーラン、ハイポーズ！

訪問先

世さ来いみつとろば

(取材 宮下・滝口)

問 正式な団体名を教えてください。

小林さん 世さ来いみつとろばです。この名前はみんなで考えてつけました。

問 どのような方々が会員になっているのですか。

小林さん 30歳代から60歳代までの女性が、いまのところ正式な会員です。将来的には、老若男女を問わず、年齢制限を問わず幅広く会員を募集していきたいと思っています。

問 この活動の参加者は西桂だけではなくて近隣の市町村からも参加者がいるのですか。

皆さん 西桂に限らず、上暮地や境の人も参加しています。どこからでも、集まって来た人を受け入れようということにしています。

問 現在の会員数、活動内容、練習会場を教えてください。

小林さん 現在の登録会員は26名です。練習は1週間に1回、月曜日に、YLO会館で行

なっています。体育館でやりたいのですが、なかなか空かないので苦労しています。

できれば、武道館などを利用させていたいただきたいです。

問 今後の目標を教えてください。

小林さん 運動会などにも参加させていただきたいし、オリジナルな歌や踊りを今後やっていきたいと思っています。また、町の活性化のためにも、会員の健康維持のためにも、楽しく過ごすことを広めていきたいと思っています。

問 町行政に望むことは。

皆さん 西桂は三ツ峠、織物、水とアピールするものがありますが、桂川のゴミが大変気になるのでもうにかきれいにしてほしいと思います。

会の運営は、自分達で会費を出し合って活動しているのですが、町の補助金の検討をしていただきたいと思っています。現在、会員を募集中です。

問い合わせ先

小林さん ふみ
(25・2766) または、
教育委員会 小川
(25・2941) まで



いっしょに踊ってみませんか！？

3月定例会日程

3月4日議会運営委員会
11日本会議開会

◇町長所信表明
◇町長議案一括上程
(承認1・2)

(議案1・4)

◇町長議案一括上程
(議案5・25)

◇各委員会付託
連合審査会

付託議案審査

14日◇公共事業現場視察
連合審査会

付託議案審査
総務委員会事務調査

建設文教委員会事務調査
16日本会議再開

◇委員会事務調査報告
◇付託議案総務委員長報告
(議案5・8、13・16)

一括質疑・討論・採決
◇付託議案建設文教委員長報告
(議案9・12、17・18)

一括質疑・討論・採決
◇町長議案上程(議案26)

説明・質疑
連合審査会

付託議案審査

25日本会議再開
◇委員会事務調査報告

◇付託議案総務委員長報告
(議案19・23、26)

一括質疑・討論・採決
◇付託議案建設文教委員長報告
(議案24・25)

一括質疑・討論・採決
◇町長議案上程(同意1)

説明・質疑・討論・採決
◇議員発議上程(発議1)

説明・質疑・討論・採決
◇鹿留山恩賜国有財産保護
組合議会議員選挙

◇一般質問



安全を確認してわたろう！



盛況だったボランティア祭り



あや取り教わってよかったね！

クロスワードパズル

今号の賞品：「手作り味噌」とそばもやしのセット

正解者のうち抽選で10名の方に、写真の手作り味噌にそばもやしを添えてプレゼントします。二重枠に入る文字を並べ替えて、答えを完成させてください。

応募方法：答えと住所、氏名、電話番号、議会だよりを読んだ感想や議会へのご意見を書いて、はがき、FAX、E-Mail にてご応募ください。

締切は5月31日(当日消印有効)です。
当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

1		2	3	
		4		
5	6			7
8			9	
		10		



たてのかぎ

- 1、山の木々を増やすこと
- 2、もともと日本になかった言葉です
- 3、〇〇揃い。どれもみんな優れてます
- 6、海外から戻ったばかり 〇〇ポケ
- 7、自分の分は自分で運びましょう
〇〇〇サービス
- 9、〇〇者は拒まず・去る者は追わず

よこのかぎ

- 1、4月から…
- 4、クリスマスの前の日は…
- 5、海に生息する巨大なほ乳類
- 8、資源を節約するために…
- 10、ナイスショット！

ヒント

日本の春を象徴する風情・遠山の金さんにも彫られています

〒403-0022 西桂町議会広報編集委員会
Tel 0555-25-2121 Fax 0555-20-2015
E-Mail gikai@town.nishikatsura.yamanashi.jp

編集メモ

遅遅としていた春がやっとの思いで、わが町にも来て、梅の花がほころび、桜の花も開き、道行く人も明るく、生き生きと見えます。議会だよりも多くの方々に読んでいただき皆で喜んでおります。クロスワードパズルに、お答え下さる方も多く、支度した賞品が足りなくなるといいう、うれしい悲鳴を上げるほどです。また、ご意見・要望等をいただき、これにはなるべくお答えをするようにしたいと思えます。毎号、解答・意見をお寄せくださる方々に、敬意と感謝申し上げます。これからも、尚一層のご支援をお願いし、皆様に、より親しまれる広報として努力を致します。

(宮下)

編集委員長 渡辺 正一
副委員長 滝口新一朗
委員 宮下 友義
委員 梅原 和男